

質問に対する回答について
工事名) 秋田自動車道 山内トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	避難連絡坑の吹付コンクリートの t=25cm の仕様・配合は基準書等に記載がありません。具体的な仕様・配合をご教示下さい。	土木工事共通仕様書 12-5 に基づき貴社の施工計画にてお考えください。
2	汚濁水処理設備の設置規模が特記仕様書 P30 には 30m ³ /h、参考図 23/26 には 60m ³ /h と記載されております。どちらを正と考えればよいかご教示下さい。	特記仕様書 27-16 に示す「30m ³ /h」が正となります。 なお、上記については、参考図を訂正致しますので、訂正公告をご確認ください。
3	汚濁水処理設備の泥土処理は本線盛土部と特記仕様書 P31 に記載されておりますが、本線盛土部とはボックスカルバート部盛土箇所と考えてよろしいでしょうか。ご教示下さい。	本線盛土部であれば指定はありませんので、貴社の施工計画に基づきお考えください。
4	交通規制工の規制時間は特記仕様書 P32 には「日出～日没」と記載されておりますが、日出～日没の具体的な時間帯についてご教示下さい。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
5	交通規制工の路肩規制時における作業車両の有料道路通行料金に要する費用について、具体的な区間や台数が記載されておられませんのでご教示下さい。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
6	山内トンネル設計報告書(令和 4 年 2 月)と設計図(参考図)の DⅢa-A-2 のサイクルに相違があります。設計図(参考図)を正と考えてよろしいでしょうか。ご教示下さい。	貴社の施工計画に基づきお考えください。

番号	質問事項	回 答
7	山内トシ設計報告書(令和4年2月)と設計図(参考図)の加背割図で掘削断面積に相違があります。設計図(参考図)を正と考えてよろしいでしょうか。ご教示下さい。	設計図(6/6)参考図を正としてお考えください。
8	吹付用コンクリートの高性能減水剤の種類に関する記載がありませんのでご教示下さい。	土木工事共通仕様書 12-5-2 に示すとおりです。
9	掘削補助工の注入材について、山内トシ設計報告書ではシリカジーン、特記仕様書や図面にはセメント系と記載に相違があります。特記仕様書や図面を正と考えてよろしいでしょうか。ご教示下さい。	特記仕様書及び設計図が正となります。
10	掘削補助工のセメント系注入材の具体的な規格、種類が記載されておられませんのでご教示下さい。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
11	冬季休止期間を設けておりますが、豪雪補正による機械損料割増はかかっておりますでしょうか。ご教示下さい。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
12	図面記載の覆土 t=2,000 について、 ・盛土材料の土質区分 ・一層当りの仕上がり厚さ (cm) をご教示願います。	特記仕様書 27-2 (1) 及び土木工事共通仕様書 2-6-5 (2) に示すとおりです。
13	今回工事は工期が長いので、機械損料の補正「運転時間数または供用日数が標準使用時間数または標準使用日数を超える場合の補正」を適用しているのでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。

番号	質問事項	回 答
14	支保パターン図(5)DⅢa-A-2(H)-Kに、鏡吹付コンクリートの記載があります。一方、他のパターン図には、鏡吹付コンクリートの記載がありません。DⅢa-A-2(H)-K以外のパターンは、鏡吹付コンクリートは無いとお考えでしょうか。ご教示願います。	令和4年6月10日掲載の質問番号3及び4に対する回答を参照ください。
15	特記仕様書 27-29. 調査ボーリング工において、労務は、2方、3方のどちらをお考えでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
16	特記仕様書 27-29. 調査ボーリング工において、先進ボーリング工の施工歩掛・材料単価は公表されるのでしょうか。ご教示願います。	施工歩掛及び材料単価の公表は行いません。
17	インバート栈橋費には、設置時の横移動・縦移動は、計上されているのでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
18	汚濁水処理設備上屋費には、設置・撤去費は、計上されているのでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
19	特記仕様書 27-31-2 (3) 稼働率による補正について、4週8休の機械経費（損料）の稼働率が設定されていますが、設定された稼働率で積算されていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	週休2日推進工事に要する費用における機械経費（損料）について、特記仕様書 27-31-2 (3) のとおり、表内に示す稼働率に拠る算定と土木工事積算基準に拠る算定との差額を補正額として、「特・(12) 週休2日推進に係る補正額」の契約項目に計上してください。

番号	質問事項	回 答
20	特記仕様書 27-31-2 (3) 稼働率による補正について、ずり処理工 C1 の仮置場から越中畑土捨場へ運搬するダンプトラックの稼働率は、0.77 (23 日) では無く、0.7 (21 日) と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書 27-31-2 (3) に基づきお考えください。
21	特記仕様書 27-31-2 (3) 稼働率による補正について、ずり処理工 C1 の仮置場から越中畑土捨場へ運搬するバックホウの稼働率は、0.7 (21 日) と 0.67 (20 日) どちらで計画されていますか。ご教示願います。	特記仕様書 27-31-2 (3) に基づきお考えください。
22	特記仕様書 27-31-2 (3) 稼働率による補正について、仮栈橋工における施工機械損料は、土工、トンネルを除く標準運転日 19 日、稼働率 0.63 と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書 27-31-2 (3) に基づきお考えください。
23	東日本高速道路ホームページ 東北支社管内「土木工事設計材料単価表」の生コンクリート対象地区は、横手工事事務所のうち、横手地区又は西和賀地区のどちらでしょうか。ご教示願います。	本工事の工事箇所に基づきお考えください。
24	特記仕様書、設計図(1/6)本線(下り線) p.23、1/46 において特記仕様書 27-3(1)捨土掘削の作業内容において、「2)越中畑土捨場への運搬(片道距離:約18km、片道時間約40分)」と記載がありますが、運搬費の算定に当たっては片道40.0分を使用されているのでしょうか?もし異なるようでしたら、少数第一位までの具体的な片道運搬時間をご教示ください。	特記仕様書 27-3 (1) の記載に誤りがありました。正しくは、片道距離:約16km、片道時間:約30分となります。上記については、交付図書を訂正致しますので、訂正公告をご確認ください。

番号	質問事項	回 答
25	<p>特記仕様書 p.12 特記仕様書 13-1 に指定される次の 工事用道路の規制速度 VL をご教示 ください。</p> <p>2. 市道筏小松川線 6. 町道越中畑線</p>	<p>貴社にて確認願います。</p>
26	<p>金抜設計書 58～64 トンネル掘削に使用する機械は、 土木工事積算基準 (P.19-8) の「7- 3.(3)運転時間又は供用日数が標準 使用時間数又は標準使用日数を超 える場合の損料補正」に基づく照 査を行い、損料補正を行っている ものと考えてよいかご教示くださ い。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき必要な費用を 計上願います。</p>
27	<p>特記仕様書、金抜設計書 p.23、番 号 84 金抜設計書番号 84_ずり処理工 C1 の坑外のずり仮置場から自工区外 盛土の運搬は捨土掘削と同じルー トを通ります。 特記仕様書 27-3(1)捨土掘削の作業 内容において、「2)越中畑土捨場へ の運搬 (片道距離：約 18km、片道 時間約 40 分)」と記載がありますが、 ずり処理工 C1 の自工区外盛土 場までの片道運搬時間も捨土掘削 と同様に片道時間約 40 分と考えて よいかご教示ください。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えくださ い。なお、特記仕様書 27-3 (1) の記 載に誤りがあり、正しくは、片道距 離：約 16km、片道時間：約 30 分と なります。 上記については、交付図書を訂正致し ますので、訂正公告をご確認ください い。</p>
28	<p>特記仕様書、金抜設計書、質問回答 ⑥-5 p.31、番号 83、84 トンネルずりを冬季休止期間中、 「設計図 (1/6) 本線 (下り線) の 図面番号 1 位置図の「ずり仮置 場・発生材置場」に仮置く場合、 「敷均し」の費用は計上されてい るかご教示ください。</p>	<p>特記仕様書 27-15 (2) に示すとお り、仮置き場での敷均しの費用は含ん でおりません。なお、敷均し等の追加 が必要となった場合は別途監督員より 指示します。</p>

番号	質問事項	回 答
29	<p>特記仕様書、金抜設計書、質問回答 ⑥-5 p.31、番号 83、84</p> <p>トンネルずりを「設計図（1/6）本線の図面番号 1 位置図の「ずり仮置場・発生材置場」から、場内あるいは自工区外盛土場へ運搬する際の代価は、ずり処理工、道路掘削あるいは捨土掘削のどちらを採用されているかご教示ください。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。</p>
30	<p>金抜設計書 番号 155</p> <p>先進ボーリング工は覆工コンクリート施工前の作業になるので坑内作業に該当すると思われます。労務職種に坑内作業の特殊作業手当は加味されているかご教示ください。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。</p>
31	<p>特記仕様書 27-31-1</p> <p>(3) について、稼働率による補正土工およびトンネル工で使用する「ダンプトラック 10t」についても、本工事においては、土工では土砂 B の場合「月平均標準運転日 18 日、標準稼働率 0.60」、トンネル工では「月平均標準運転日 21 日、標準稼働率 0.70」に補正すると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>特記仕様書 27-31-2 (3) に基づきお考えください。</p>
32	<p>『路盤排水工』について掘削土の扱いは、『残土処分』、『はねつけ』等どのように計上頂いているのでしょうか。残土処分の場合は見積条件も併せてご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

番号	質問事項	回 答
3 3	<p>『仮設防護工 仮設防護柵工』について 特記仕様書 P36 より仮設防護柵の材料は支給材料とのことですが、土木工事積算基準を確認すると支給品は『共通仮設費』、『現場管理費』の費用は対象となる旨の説明が記載されております。本工事では基準通りそれぞれの率分の費用は計上頂いていると理解すればよろしいでしょうか、その場合率の対象となる基準単価はどのように設定されており、後日公表して頂けるのでしょうか。併せてご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。なお、対象となる基準単価の公表は行いません。</p>
3 4	<p>『工事用仮栈橋工 土留工設置・撤去』について 鋼矢板の打込方法や打込長さなど、土留工の見積に対し詳細条件が不明です。見積条件をご教示願います。</p>	<p>設計図(5/6)工事用仮栈橋 図面番号 34 及び 37 のとおり、鋼矢板の打込みの施工はありません。</p>
3 5	<p>『工事用道路維持補修費』について、散水車の日当り稼働時間は何時間でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
3 6	<p>06_04 【訂正】設計図（トンネル）支保パターン図（4）（5）及び特記仕様書 27-27 長尺鋼管鏡補強工 打設工 A、B より長尺鏡ボルトの長さが各 L=15.5m、12.5m、9.5m となっておりますが、注入工法が 1.0 ショットであるため、端末に 1.0m の調整管を足して、それぞれ 16.5 m、13.5m、10.5m となるのではないのでしょうか。ご教授ください。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

番号	質問事項	回 答
37	設計図(1/6)本線(下り線)2/46について、撤去工の切土部地下排水溝のDu-S-φ0.20の材質は、遠心力鉄筋コンクリート管、硬質塩化ビニル管、高密度ポリエチレン管、排水用再生硬質塩化ビニル管、建物排水リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管のいずれでしょうか。ご教示願います。	本線施設撤去工 排水管φ0.20について、材質は硬質塩化ビニル管とお考えください。
38	特記仕様書P48について、③の箇所に、トンネル工の標準運転日が21日と記載されております。土木工事積算基準の割掛工事の準備工事費や仮設備工事費等の歩掛には、標準運転日23日を基本とした歩掛が、多数掲載されております。これらの歩掛においても、特記仕様書記載の内容が優先されるため、21日に修正されていると考えてよいのでしょうか。ご教示願います。	週休2日推進工事に要する費用における機械経費(損料)について、契約項目及び割掛項目における機械経費(損料)を対象としていますので、特記仕様書27-31-2(3)に基づき算出した補正額を「特-(12)週休2日推進に係る補正額」の契約項目に計上してください。
39	単価表121~123について、仮設落石防護柵は、購入材は無くリース品とのことですが、現場までの運搬費用は、仮設材の運搬費として、割掛の共通仮設費の仮設材運搬費に計上すればよいでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書27-21-1(5)のとおり施工箇所までの運搬に係る費用は、割掛項目でなく契約項目に計上してください。
40	単価表137,138について、遮水シート、保護マットのロス率は何%見込まれてますか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
41	単価表6について、購入土は最大粒径300mm以下としか記載がないため、ロス率の計画ができません。何%のロス率を見込んでおられるのか、ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。

番号	質問事項	回 答
4 2	<p>特記仕様書 13-1 について、市道篠小松川線の幅員が 7 m と記載されていますが、2 / 3 程度は 1 車線程度、残りが 2 車線となっております。運搬時間算出に当たり 7 m の幅員という解釈でよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
4 3	<p>特記仕様書 7-1-5 について、自工区外盛土では「盛土の完了後盛土土量の確認を受けるものとする」とあり、そのためには敷き均し転圧が必要と考えますが、捨土掘削土砂の作業内容には敷き均しの記載はなく、ずり処理工も C1 のため敷き均し等は不要と考えます。自工区外盛土場の共同使用者は現在未定ですが、共同使用者で敷き均し転圧を行っていただけたらと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>捨土掘削 土砂及びずり処理工 C1 について自工区外盛土場への運搬までとなり、盛土（敷均し、転圧）は別工事の予定です。なお、本工事で自工区外盛土場での盛土が必要となった場合については別途指示を行い、特記仕様書 7-1-5 に示す完了確認を行うものとお考えください。</p>
4 4	<p>特記仕様書 27-4 について、盛土工 A 1 や A 3 に使用する盛土材は、材料におけるロスを計上するのでしょうか。計上する場合は、ロス率をご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>